

# fureai ふれあい No.43号

令和元年10月23日発行 第43号 発行／総合青山病院(0533)73-3777 印刷／(株)昭栄社印刷所

<http://www.aoyama-hp.or.jp>

第42回  
医師  
からの  
メッセージ

## 近視について

眼科  
部長 市川 慶



眼科は今年の7月から診療体制が変わり、平日午前はほぼ毎日外来を行うこととなりました。

そんな眼科で最も遭遇する疾患の近視についてお話をさせていただきます。

現在、近視はどの先進国でも数多く見られる、遠くにピントが合わなくなる状態で、屈折異常と呼ばれる病気の一つです。平成30年の学校保健統計でも中学生では2人に1人が、高校生では3人に2人が裸眼で視力が1.0未満となっております。その殆どの原因が近視です。また、人によっては近視が進行して高度近視となってしまうます。失明の大きな原因として、常に5位以内に挙がる高度近視は、普通の方に比べて、緑内障や網膜剥離や網膜裂孔などの様々な病気を起こしやす

くなると言われていきます。現在行われている近視の治療として、成人以上の方にはレーシックや有水晶体眼内レンズ挿入手術（ICL）などの、ピントを調節するための手術である屈折矯正手術を行うことで疑的に近視を無くす治療が行われています。これらの屈折矯正手術は自費診療のため、メリット・デメリットを、施行する施設でしっかり確認してから行うのが良いと思います。

また、世界的に近視の悪化を抑制する研究もすすめられています。最近の研究で近視を抑制するには、適度な紫外線を浴びることが良いことだと分かりました。また、眼鏡やコンタクトレンズなどで近視を矯正して、視力が良い状態で生活することは眼に良いことであると報告されており、その最

先端の治療として、オルソケラトロジーと呼ばれる夜間コンタクトレンズ治療が国内でも開始されています。元々オルソケラトロジーは夜間にコンタクトレンズを使用することで、眼の形を変えて日中のコンタクトレンズの煩わしさから解放されるために開発されましたが、シンガポールの大学の研究で近視を抑制する効果があるという報告がされました。ただオルソケラトロジーも自費診療ですし、また、近視矯正の効果について懐疑的な意見もありますので、治療を希望される方は施行する施設で詳しい話をしっかり聞くことが大切です。

今回紹介した治療の一部は当院でも行っておりますので、興味がある方はお気軽に眼科でお尋ね下さい。













ご意見

ご要望

# ふれあい箱の回答

たくさんのご意見ありがとうございます。



## ご意見

病院での入院やリハビリ期間、施設への移動、病状による入退院の仕組みがわかりません。大まかに教えてください。

2病棟 入院患者さま

入院期間や施設へのご移動は患者さまの病状によって異なります。また、病院と施設では提供できる医療、看護ケアも異なります。一般的には状態が安定されたら退院していただく、施設へ入所していただいております。地域医療連携室(本館1階)にて、色々なご相談に応じていますのでお気軽にお寄りください。また、お電話でのご相談にも対応しています。

看護師の皆さま、優しく話してください本当にありがとうございました。気持ちが楽になりました。

温かいお言葉をありがとうございます。今後も患者さま側に立った医療を目指し、職員一同精進してまいります。

## 遊びの広場の解答

6	8	1	2	4	9	5	3	7
4	3	9	1	7	5	8	6	2
2	5	7	3	8	6	1	4	9
1	4	5	6	3	2	7	9	8
8	2	6	7	9	1	4	5	3
7	9	3	4	5	8	2	1	6
5	7	2	9	6	4	3	8	1
3	6	8	5	1	7	9	2	4
9	1	4	8	2	3	6	7	5

涼しい季節になりました。今年の夏も暑かったため、季節の変わり目に体調を崩さないよう